

令和元年度 第4回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会場 令和元年7月25日(木)午後7時00分～9時00分 昭和会館
出席者 谷部議長、中村副議長、佐伯委員、長瀬委員、濱田委員、松本委員、
二ノ宮リム委員、吉村委員
欠席者 齋藤委員、稲垣委員
事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開 会

＜配付資料＞

- 資料1 令和3(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会(東京大会)実行委員会 令和元年度第1回実行委員会次第
資料2-1 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会次第
資料2-2 第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会におけるプログラム協賛募集について

- ・昭島市月間行事予定表 8月
- ・第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会開催要項
- ・あきしまの青少年 No.255
- ・第47回昭島市民くじら祭 パンフレット
- ・昭島の写真大募集 チラシ
- ・生涯学習サポーターの会 まなぶん 文化教養講座「魔女教室」チラシ

2 議 題

(1) 研修会「市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議」について(7/21)

議 長 「市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議」には多くの方に参加していただいた。その様子についてまずお話しいただきたい。

委 員 どんどん自分の意見を言う人がいて話が中断したように感じるが多かった。ファシリテーターから何度か「話を聞きましょう」という声かけがあったが、他の方が発言できなかったのではないかと気になってしまった。最初に参加者についての情報があってもよかったのではないか。

委 員 報告者の方が持ち時間をほぼ使って丁寧にお話してくれた。少し質問の時間を取るとよかったかもしれない。指導者の育成や時代の流れに応じることのできる体制づくりについて話題が出た。高齢者支援についても実に幅広く相談に応じておられ、無料であることに驚いた。現在は都の補助金を活用されているようだが、自助努力だけでなく、支援の輪を広げられたらと感じた。

委 員 最初はグループの人数が多いということを感じたが、どんどん自分の意見をいう方が

複数いた場合、グループの人数が多かったことが功を奏し、軌道修正しやすかったように感じた。今後参加者が増えてくるとこういう状況は避けられない事だと思う。報告はやや短めだったので、議論が活発にできた。机の配置もみんなの顔がきちんと見えてよいと思った。

委員 人数は少なめだったので、穏やかだったかと思う。一見違う分野の話かと思いきや、異文化理解という点ではかなり共通する点があった。お互いを尊重しながら個々を活かせるようになるという話だった。異分野でもこういう場で出会うことで同じような地域のビジョンが持てるのが素敵だと思う。想いのある方は、経験の充分おありだったこともあり、ご自身の想いを語られる場面がやや多かったが、他の参加者は参加して気づいたことなどについて付箋を書くことで想いを出されていたり、それについて語られていたので、それはよかったと思った。異なる領域でも繋がるものがあるというのは大きな気づきだったと思う。安定していない方もいらっしゃるの、さまざまなタイプの外国の人が、日本社会に溶け込んでいく手伝いをしていくということを目指していらっしゃるようだが、日本人の教育も必要ではという話が合った。

委員 私は報告者として参加した。質問があれば途中でどうぞと話していたので途中で質問があっても気にならなかった。報告しながら気づいたのは、自治会館を建てたときに購入したカラオケセットを一度も使っていないということだ。それよりも、どなたかが紹介してくれた健康麻雀にとっても人気がある。カラオケの機会の操作は難しいものさうだが、次回の自治会館の会議で新しい使い道を検討したいと思った。

もうひとつの事例では、ものすごく長い時間、高齢者が幸せになれるまで関わるという使命感をお持ちのようだった。グループの雰囲気としては、中学生や大学生がいて、すごく質問も多かった。地域活動をされている方もいいところで話をされていた。中学生の方は遅れて場に入られたが、ファシリテーターが聞いてくれたので、貴重な意見が聞けた。「どうやったら若い人たちが地域のイベントに参加してくれるか」を投げかけたところ、「みんなでいろんなことをやって結果を出せるものがあれば、参加しやすい」という発言があった。お膳立てされたものでなく、最初から関わりたいということではないかと思った。

委員 私も報告者として参加した。報告に集中できてよかった。学生さんや、小さいお子さんを抱えていらっしゃる方などから、様々な意見を聴くことができた。ファシリテーターの声かけがいろんな意見を引き出していたと思う。自分自身は自分の活動が本当に好きでやっているのだなと感じた。

議長 話としては、地域の食堂の話など非常に考えるものがあつた。ファシリテーターとして意識したのは、20分くらいの報告であとは議論ができるようにという配慮だ。今回のあきしま会議では、全体が終わったあとの情報交流会がとてもよく、全体共有できたと感じている。

委員 こうした場合は、参加者一人ひとりがつながりを感じることでできる場なのだろうということが感じられる。それぞれが次に活かせるものを得られるのだと思う。

3 報 告

(1) 令和3(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第1回実行委員会について(資料1)(7/23)

議 長 第1回の実行委員会が行われ、今年度の実行委員長に三鷹市、副実行委員長に青梅市、府中市が選出された。令和3年度、昭島市は東京都市町村社会教育委員連絡協議会の副会長市、および、東京大会の副実行委員長となる。東京大会の会場は、メイン会場が府中の森芸術劇場、分科会がLUMIERE FUCHUとなる予定だ。今年度中に数回の実行委員会が予定されている。

(2) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について(資料2-1、2-2)(7/23)

議 長 報告内容については、配付資料にある次第のとおり。各ブロック研修会について、今年度も他ブロックの研修会に参加も可能となる。昭島市が所属する第2ブロックは、10月26日(土)を予定している。他ブロックの研修会にも参加できるように情報提供していただけるとのことだ。交流大会は12月14日(土)に開催予定で、今年度は交流大会後に予定されている講演会を一般の方も入場できるようにするとのことだ。その他、(一社)全国社会教育委員連合の会費改訂に係る意見徴収のまとめについて説明があった。

(3) 令和元年度第2回青少年問題協議会について(7/23)

委 員 会長である市長を含め協議会の委員は全部で24名、うち新任の委員が10名だった。はじめに役員選出などを行った。社会教育委員は、「令和2年度青少年健全育成活動基本方針」に関する検討委員会の委員となった。情報交換として、昭島警察などからお話が合った。振り込め詐欺の再犯率は高いそうだ。万引きについては特に小学校3~4年生が多い傾向にあるようだ。子供や高齢者の安全対策としての議論もあった。

次回

8月29日(木) 午後7時より 昭和会館

9月19日(木) 午後7時より 昭和会館